

教育行政執行方針

平成24年度の本市の教育は、平成23年度からの小学校に続き、中学校においても新学習指導要領の全面実施が行われ、基底教育課程をもとに各学校で順調な教育活動を行っているところです。児童生徒数の減少に伴って策定した小中学校適正配置計画に基づき、前期計画における3小学校については、来年度の統合実施に向けた具体的な協議を開始しました。

また、社会教育関係では、少子化対策の一環として社会教育施設の無料化を実施し、新しい市民プールも順調に活用されているところです。教育委員会としては第5次赤平市総合計画を基本に、生きる力を育む生涯学習社会の実現をめざして、学校教育・社会教育の充実と発展のため各種の取り組みを進めてきたところであります。

ここに平成24年度の成果と反省に立ち、平成25年度の教育行政執行方針を示させていただきます。

I 「確かな力」「豊かな心」を「たくましい体力」を育む学校教育の充実

学校教育のねらいは、子どもたちに確かな学力をつけ、生涯にわたってたくましく生きる力を育むことにあります。基礎的、基本的な知識の定着はもとより、一人ひとりの特性に応じ、きめ細やかな指導を通して心身ともに調和のとれた豊かな人間性の育成に努めることが重要です。特に学習指導においては、わかる喜びを実感できる授業の創造に努めるとともに、絶えず指導方法の工夫、改善、充実をめざした取り組みを進めます。

また、全国学力・学習状況調査の結果分析による本市としての「学力向上プラン」の着実な実行に努めます。加えて、標準学力テストについても全校での実施により、個々の学習内容の定着状況を的確に把握した継続的な学習指導を行なうとともに、必要に応じた補充的な学習の実施により学力の向上を図ります。

知識・技能の確実な定着には家庭学習の習慣化を欠かすことはできません。そのため、保護者との連携を強化し、保護者対象の講座の実施などで望ましい生活習慣の確立等、家庭の持つ教育力の向上に努めます。

近年、子どもたちの体力の低下が叫ばれています。体力の向上に関する指導は、心身の健康の保持などと併せて体育の時間はもとより、特別活動を含む教育活動全般を通して子どもたちの体力の向上に努めます。



また、望ましい食生活の確立は健康の保持・体力向上のみならず、学力についても密接な関連があると考えられています。ことから、栄養教諭による食育の指導に努めます。

一人ひとりの個性をみがき、確かな社会性と自己実現をめざす生徒指導の充実が重要な課題であります。そのため、いじめの根絶はもとより不登校の解消問題傾向を抱える児童生徒の早期対応、問題発生時の機敏な対応など教職員と児童生徒の日常的な触れ合いや心の交流を大事にしな

がら信頼関係を確立し、積極的な生徒指導を通して対応します。また、学校教育における体罰に

ついては、学校教育法第11条において禁止されており、教職員一人ひとりが教育者として自覚を持ち、体罰の防止に万全を期するよう注意を喚起します。同時に、生命を尊重し、思いやりの心を持ち、公共心や規範意識を育て、道徳の時間を中心に教育活動全体を通じて豊かな心の育成に努めます。

子どもたちが郷土を知ることが重要です。小学校社会科副読本の活用などにより赤平の文化や歴史を子どもたちへ継承します。また、効果的で豊かな学習ができるよう教育備品の整備・充実を計画的に進めるなど教育環境の向上に努めます。

子どもの安全・安心の確保は今日の重要な課題であります。保護者や地域の方々、関係機関との連携を密に登下校時の安全確保の体制づくりを進めます。

交通事故の防止につきましても安全教育を徹底し、事故の防止に努めてまいります。併せて、安全な校舎環境の整備に引き続き努めるとともに、火災や地震などに対応できる訓練を実施します。



◆特別支援教育

コーディネーターの配置を含む校内組織の整備や個別の支援計画の策定などに取り組んできたところであります。今年度も引き続き特別支援教育支援員の配置を行ない、特別支援教育の一層の充実をめざして取り組みます。

◆幼稚園教育

本市の幼稚園は、広々とした環境の中で適切な教育が実施されておりますが、今後も3歳児教育、預かり保育の継続と昨年度に引き続き施設の修繕や備品購入を重点的に進め、良好な環境づくりに努めます。また、保育所との交流や小学校との連携をより密に行うなど、幼稚園教育の一層の充実を目指します。

◆学校給食

食育の重要性が叫ばれている中、栄養のバランスに配慮しつつ、食中毒を防止するための衛生管理を徹底し、併せて継続的な設備更新をすすめ、安全・安心で子どもたちに喜ばれる給食の提供に努めます。

II 心豊かに学習し充実した 人生の創造をめざす 社会教育の推進

市民が心豊かに学習し、充実した人生の創造をめざす社会教育の推進は、少子・高齢化が進む現在をわけて重要であり、積極的な事業の展開が求められています。

社会教育関係は、交流センターみらいと東公民館に集約し、社会体育関係は総合体育館を拠点にし、施設の整備・充実を図り、利用者の理解を得ながら、効率的、効果的な管理運営に努めます。子どもたちの社会教育活動への参加並びに体育振興を図るため、市内の中学生以下の子どもたちについては、引き続き社会教育・体育施設の利用料の無料化を維持します。

◆家庭教育の推進

近年、家庭の持つ教育機能を高め、生活習慣・学習習慣の定着を図ることの大切さが指摘されており、PTA等との連携を通じて、家庭教育に関する学習機会の充実や情報提供などに努めます。

◆青少年教育

体験学習 指導者養成の促進をねらいとして、引き続き青少年健全育成事業、ふるさと少年教室などの充実をめざします。また、全国的に学校教育におけるいじめ問題は深刻な事態となっており、早期発見・未然防止のため

めに、地域社会の果たす役割にも期待が寄せられているところ

です。伝統的な「あかびら子どもまつり」は、「なかよし共和国」を子どもたちが運営するなど、子どもたちの体験学習、仲間づくり活動など、思いやりの心を育むため有益な活動であり、少年教室・健全育成事業においても、いじめ防止対策を重視していきます。子どもたちを事件・事故から守り、安全・安心を確保するため、青少年センターを中心とし、地元警察署や地域住民との連携を図り、登下校時のパトロールをはじめ各種の取り組みを進めます。さらに、近年問題とされている子どもへの虐待など児童福祉の諸課題についても、関係機関と連携を密にして取り組みます。



◆成人・高齢者教育

地域のコミュニティづくりの活性化をめざし、生涯学習まちづくり出前講座、公民館講座、趣味・教養講座などの積極的な活用と、指導者の発掘、養成など地域社会に密着した学習機会の

充実に努めます。

◆芸術・文化の振興

各種イベントを中心に市民の文化への理解と関心を高め、文化協会と連携し、地域に根ざした特色ある芸術・文化の振興に努めます。また、郷土・赤平の歴史を継承する文化財保護行政については、引き続き郷土資料や炭鉱遺産の保存に努めてまいりますとともに、本市の無形文化財第1号であります住吉獅子舞の保存活動についても支援します。

◆読書活動と図書館運営

平成23年度に導入した図書館管理システムは順調に稼動しており、今年の1月には初めて図書館力レンダーの全戸配付、また4月からは東公民館での「移動図書館」を行うなど、今後も市民が親しみ、利用しやすい図書館をめざします。また、「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちが一層読書に親しむことのできる環境づくりに取り組んでまいります。「ブックスタート」、「絵本読み聞かせ」、「ふるさと絵本」事業などについては、引き続き取り組み内容の充実に努めます。

◆健康増進とスポーツ振興

スポーツを通して心身ともに健康で豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツ社会の実現をめざし、健康づくり、体力づくりをはじめ年齢体力、技術に応じ

た多様な競技スポーツ、レクリエーションスポーツ活動を支援します。スポーツは健康づくりの基本となりますので、各種スポーツや少年スポーツ教室の取り組みを推進します。一昨年オープンした市民プールについては、年間利用者数は1万人を突破するなど、市民の皆さまから好評をいただいたところであり、主催事業の企画など、さらに親しまれる施設づくりに努めます。

III 学校・家庭 地域の 連携のもと活力ある 地域社会の創造

学校は家庭・地域に積極的に情報発信するとともに、地域への参観日の実施や学校評議員など関係者の意見を取り入れることにより、地域に根ざした学校づくりを進めます。

◆学校の適正配置

少子化の急速な進行による児童生徒数の減少を受けて策定した「赤平市立小・中学校適正配置計画」により、昨年度から着手いたしました茂尻、住友赤平、平岸の3小学校の統合については、円滑な統合に向けた交流学習の実施や教育課程の調整など、平成26年4月の統合に向け具体的な取り組みを進めます。

◆信頼される教育、くらし

赤平の教育は地域に信頼され

る赤平の教育を創ろうをテーマに取り組んできました。開かれた学校をめざし、より一層の充実に取り組みます。赤平市教育研究推進協議会は、信頼される赤平の教育づくりの中心的な役割を担い、専門性を高めるための教育研究はもとより、赤平市基底教育課程の実践・検証にも重要な役割を担っています。今後とも赤平の子どもたちを中心に据え、教育関係団体、保護者、地域住民が一体となつて取り組みます。



◆地元唯一の高校・赤平高校

公立高等学校配置計画によって、大変残念ではありますが本年度より募集が停止され、平成26年度末での閉校が確定しました。しかしながら、現在、通学している赤平高校在校生に対しては、充実感を持って卒業できるよう引き続き援助を行います。また、近隣の高校へ通学を希望する志願者に対し、従前同様、きめ細かな進路指導をします。

市政・教育行政執行方針の本文につきましては、市ホームページ <http://www.city.akabira.hokkaido.jp/>に公開しています。